

# 令和6年度秋季 議会報告会実施報告書

○令和6年11月 7日（木）

1班 雲浜地区 (P1 ~ P3)

2班 宮川地区 (P4 ~ P5)

3班 加斗地区 (P6 ~ P7)

4班 小浜地区 (P8 ~ P9)

○令和6年11月21日（木）

1班 内外海地区 (P10 ~ P11)

2班 中名田地区 (P12 ~ P14)

3班 今富地区 (P15 ~ P16)

4班 口名田地区 (P17 ~ P18)

○令和6年11月22日（金）

1班 松永地区 (P19 ~ P20)

2班 西津地区 (P21 ~ P22)

3班 国富地区 (P23 ~ P24)

4班 遠敷地区 (P25 ~ P26)

会場：各地区のコミュニティセンター

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月7日(木) 19:30~21:00		
会場 / 地区	雲浜コミュニティセンター		
出席議員	1班 / 富永芳夫、池田英之、藤田靖人、東野浩和、浦谷梨華子		
参加者(市民)	16名		
報告事項	<p>司会・班長：藤田靖人          報告者：(定例会報告) 東野浩和          (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 池田英之          書記：浦谷梨華子</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	<p>緊急通報装置をどの程度利用しているのか、利用率を確認したい。</p> <p>当地区では3年に一度要支援者の見直しを行っているが、その調査票に、緊急通報装置の利用状況を確認する項目を追加してほしい。さらに、利用者自身が通報装置の応答を確認する訓練を行うことを検討してはどうか。</p>	【今後の対応】
	回答	<p>緊急通報装置の貸与事業については、令和4年度で約185名が利用しているとの報告があるが、実際の利用率は不明である。定期的な訓練で使用状況を確認するという意見は非常に良いと考えるため、担当課と共有する。また、高齢者世帯等要配慮者調査は災害時配慮者支援制度のために使用されている調査であるため、緊急通報装置に関する調査を行うには別の調査票が必要になると考える。新たな調査票の作成と運用が可能かどうか、担当課に相談し、よりきめ細やかな調査を目指したい。</p>	
	質問	<p>緊急通報装置を小浜市の予算で賄えるのは189台と聞いている。現在のところ余剰はわずか4台程度しかない状況だが、このような状況でよいのか。</p>	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	<p>緊急通報装置について、市民税課税者の利用者数がわずかであったため、令和5年度の利用者数は減少していた。一方で、ひとり暮らしの高齢者が毎年増加している状況を踏まえ、自己負担の軽減を検討するよう担当課へ伝える。</p>	
	質問	<p>火葬場を新設する計画はあるのか。</p>	回答どおり
	回答	<p>若狭広域行政事務組合において検討が進められているが、地元住民の意向も踏まえる必要があるため、場所の選定に時間を要している状況である。</p>	
	質問	<p>新しい火葬場がクリーンセンター跡地に利用される予定はあるのか。</p>	回答どおり
	回答	<p>火葬場の建設は小浜市単独で決定するのではなく、若狭広域行</p>	

		政事務組合で協議し進める流れとなっている。土地所有者との契約に関する問題もあるため、小浜市単独で進めるのは困難な状況である。	
意見		提言では「ふれあいサロンや老人クラブへの財政支援拡充」が挙げられているが、金銭的支援だけでなく、活動継続のための細やかな支援が求められる。また、市から各区長に提供される高齢者の個人情報資料について、不明な点が多く、区長の負担が非常に大きい。	
		災害時には、高齢者にも分かりやすい避難情報の提供が重要。孤独死事案を踏まえ、民生委員が日常的に関われる支援体制の強化が必要だと思う。空き家問題では、草が市道に茂り通行や登下校時の安全が懸念される。ボランティアによる草刈りの申出があるが、不法侵入のリスクもあるため、行政や地権者で解決策を進めてほしい。大手橋・西津橋の架け替え工事が出てきた杭について、保存や処分の方針について議会で助言いただけると良いと考える。	
回答		担当課に伝える。	行政に伝える (回答は求めない)
意見		新幹線駅舎の位置が決定する前に、東小浜付近で国道 27 号と小浜インターチェンジを結ぶ道の 2 車線プラス歩道の整備計画を早急に進めるべきだと思う。また、この地域は田んぼが多いため、駅位置が公表されてから家屋や設備が増えることで雨水量が増加する可能性が高い。生守や多田川水系も含め、駅位置決定前に必要な対応を議会で進めてほしい。また、小浜に 10 両編成程度の列車が停められる基地機能の整備も検討すべきだと思う。	
回答		担当課に伝える。	行政に伝える (回答は求めない)
意見		民生委員と関係が深い高齢・障がい者元気支援課が市役所にあり、健康管理センターと分かれている点が不便に感じられる。一緒の場所にすることで利便性が向上すると思う。	
回答		担当課に伝える。	行政に伝える (回答は求めない)
意見		昭和 25 年に決定された小浜市の都市計画道路が見直されておらず、西津では中途半端な状態が残っている。いづみ町の整備が進んだが、見直しをしないと税金の無駄遣いになりかねないため、早急に検討すべきだと思う。	
回答		担当課に伝える。	行政に伝える (回答は求めない)

質問	2年前にデマンド交通の実験が行われたが、その後の回答がなく事業が終了している。高齢者の増加と運転者の減少を踏まえ、デマンド交通に関する具体的な計画があるのか。	
回答	今年の6月か7月に地域公共交通会議が開かれ、2年前に試行したデマンド交通についても意見が出た。本市ではコスト面や運転手不足といった課題があり、事業者任せの公共交通整備は非常に困難な状況にある。現在、市議会では高齢者や通学する方を含む生活交通の在り方を検討中である。	回答どおり
質問	ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについての提言書に関して、実際にどうなったかという確認作業はいつされるのか。	
回答	提言書には法的拘束力はないが、議会の総意としての提言であり、非常に重要な意味を持つ。市が地域包括ケアシステムを目指す中で地域支援が遅れている現状を踏まえ、我々が行った提言への回答をいただき、それを民生委員やひとり暮らし老人相談員の皆様と共有できる形にしていきたい。	回答どおり
質問	「高齢者世帯等要配慮者調査」で社会的孤立の状況把握や防止に活用できる項目が不十分とされているが、さらに何を調べる必要があるのか疑問に感じる。特に、90歳を超えた方への聞き取りは負担が大きく、大変である。	
回答	現在、元気で要支援に該当しないひとり暮らし高齢者の情報について、「親しくされている人は誰か」という互助の把握が地域包括ケアシステムの中でできていないと考える。そのため、日常生活に関する調査票が必要ではないかとの意図で提言書に記載した。担当課にも相談し、民生委員の皆様からのご指導をいただきたい。	回答どおり

令和6年12月27日

小浜市議会議長 様

第1班 班長 藤田 靖人

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月7日(木) 19:30~20:30		
会場/地区	宮川コミュニティセンター		
出席議員	2班/下中雅之、竹本雅之、川代雅和、佐野達也		
参加者(市民)	20名		
報告事項	<p>司会・班長：竹本雅之          報告者：(定例会報告) 川代雅和          (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 下中雅之          書記：佐野達也</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	現予算は前市長のときに決めたものだが、市長が変わったことによる今後の予算への影響は。	【今後の対応】  回答どおり
	回答	市長が選挙期間中に掲げていた公約を実現するための事業が今後の予算に反映されてくる。	
	質問	若狭消防署の庁舎、訓練場所、職員の駐車場の整備をどのように考えているか。	回答どおり
	回答	若狭消防組合は小浜市・若狭町・おおい町・高浜町で組織された組合であり、4市町が歩調を合わせて取り組んでいる。庁舎等の整備については今後議論されると考えている。	
	質問	操法大会の参加などが負担となり、消防団員の成り手不足が大きな課題である。操法大会の在り方も含め、消防団員の成り手不足について検討してほしい。	回答どおり (消防に伝える)
	回答	消防団員の負担軽減について検討したい。消防団員の成り手不足解消策として、機能別消防団がある。	
	質問	機能別消防団員も自警団や自主防災組織のメンバーとの兼務者が多く、訓練への参加者が少ない。兼務者が多いことについても検討してほしい。	回答どおり (消防に伝える)
	回答	これについても成り手不足が影響していると思う。消防署に伝える。	
質問	新しい火葬場建設の状況は。	回答どおり	
回答	火葬場は、小浜市・若狭町・おおい町・高浜町で構成する若狭広域行政事務組合が建設するという形になっている。新しい火葬場がある若狭町を除く、3市町の枠組みの中で新設を目指しているが、土地の確保に時間を要していると聞いている。高浜町にクリーンセンターを開設したため、おおい町か小浜市に建設することになる。		

	<p>質問</p> <p>回答</p>	<p>新幹線開業に向けて、小浜市は観光施策においてどのようなまちづくり構想を持っているのか。</p> <p>小浜市は、令和2年6月に「北陸新幹線全線開業を活かした小浜市新まちづくり構想」を策定した。小浜西組は文化観光課の所管だが、新幹線・交通まちづくり課と連携して進めていくと思う。</p>	<p>回答どおり</p>
--	---------------------	---	--------------

令和6年12月27日

小浜市議会議長 様

第2班 班長 竹本 雅之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月7日(木) 19:30~21:00		
会場/地区	加斗コミュニティセンター		
出席議員	3班/今井伸治、岡泰宏、武長由里子、上野一		
参加者(市民)	23名		
報告事項	<p>司会・班長：今井伸治          報告者：(定例会報告) 岡泰宏          (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 上野一          書記：上野一</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	約1割の人が、下水道の使用料が払えないでいると聞くが、収納状況はどうか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	上下水道とも高い収納率ではあるが、引き続き市も収納に向けて努力をしている。	
	質問	火葬が重なると数日待ちの状況と聞くが、新しい火葬場はどこにするのか。	回答どおり
	回答	小浜市・高浜町・おおい町・若狭町で構成する若狭広域行政事務組合において設置に向け検討を進めているが、趣旨には賛成いただけても、実際に建設するとなると地域から反対の意見がある。	
	質問	ひとり暮らし高齢者の緊急連絡先の件で、一度利用したが、電話確認で終わった。応答がない場合のみ現場対応とのことであったが、応答があっても確認に来てほしい。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	緊急通報装置貸与事業の利用状況は約180人(令和4年度)である。利用者が少ない要因として、人感センサーが一定時間感知しないと自動通報され、担当者が家の中に入って来るので困るといった内容もある。要望は市に伝える。	
質問	ストックヤード整備事業について、舞若道の4車線化で出てくる土砂が136万立方メートルあるが、加斗地係(上加斗・下加斗)が処分地の対象になるのか。	回答どおり	
回答	舞若道の工事が出てくる土砂の処分は加斗と平野の県営産業団地を考えている。ただし、加斗と平野だけでは足りないので、太良庄と東相生において調査設計を行っている。		
意見	加斗も国道からJRとの間の埋め立て地域を活用してはどうか。	行政に伝える	
回答	当初から予定していたのは国道より海側である。この場所は業		

		者と地権者が直接話をする事になり、最終的に市は関係しないこととなった。国道から JR の間においての意見は市に伝える。	(回答は求めない)
質問		聖ルカ乳児ほいくえんが新設されたが、新設する場合の条件があるのか。加斗保育園も古く感じている。	
回答		聖ルカ乳児ほいくえんについては、老朽化に伴う移設である。加斗保育園に限らず、公立保育園において修繕が必要な箇所がある場合は早急に修理し、維持している。	回答どおり
質問		防波堤の釣り禁止についても、市の条例となっているのか。	
回答		県の管轄なので、市に相談していただければ県に伝える。	回答どおり
質問		小浜市の観光のメインは何か。お寺巡りと三丁町巡り、焼き鯖か。レインボーラインからエンゼルラインを経て大島まで橋を架け、高浜に周れるような観光ルートを提案していただきたい。	
回答		新幹線開業を見据え、敦賀から高浜まで一体となって施策を推進している。市としても、エンゼルラインのトイレの問題や水の問題等を県に対して提言している。	回答どおり
質問		民生委員等への財政的支援について、人口が減少する中、多少の財政的支援で持続できるのか。	
回答		県から年 60,200 円、市から月 1,000 円の活動費が民生委員へ支給されている。また、今まで活動費の中から支払っていた、県民生委員児童委員協議会への個人負担の約 8,000 円は、今年度から公費で賄えるようになった。高齢者宅の草刈り等、民生委員活動の内容以外の仕事もしていただいているとの話もあり、国等に対し要望すべき事項を議会でまとめた。	回答どおり

令和 6 年 12 月 27 日

小浜市議会議長 様

第 3 班 班長 今井 伸治



小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月7日(木) 19:30~21:00		
会場/地区	小浜コミュニティセンター		
出席議員	4班/池尾正彦、牧岡輝雄、小澤長純、世戸玉枝		
参加者(市民)	21名		
報告事項	<p>司会・班長：池尾正彦          報告者：(定例会報告) 牧岡輝雄          (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 世戸玉枝          書記：小澤長純</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	民生委員は、どのような人がどのように選ばれ、どのような仕事をしているのか。	【今後の対応】  行政に伝える (回答は求めない)
	回答	どのような人という条件はなく、地区の選考委員会(地区により方法は異なる)で選ばれる。成り手不足が課題となっている。民生委員は、訪問活動をはじめ多くの役割を担っているが、国に代わり行政がしっかりと市民に知らせ、仕事の内容も明確にすべきである。	
	質問	民生委員の仕事は無償か。また、今日の議題が分かりにくい、要するに民生委員のことか。	回答どおり
	回答	基本的には無償である。資料にあるとおり、活動費が支給されている。また、議題については、ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みを調査する中で、民生委員の役割が非常に大きいことを再確認し、国への意見書にもつなげている。	
	質問	二つの区に一人の民生委員のところがある。一区一人にできないのか。	行政に伝える (回答を求める)
	回答	担当課に伝える。	
	質問	老朽化した火葬場の今後の計画はどうなっているのか。	回答どおり
	回答	火葬場の建て替えについては、若狭広域行政事務組合が取り組んでいる。小浜市かおおい町に建設されると思うが、場所の選定に時間を要している状況である。新しい火葬場ができるまでは現施設を修繕しながら使用していく。	
質問	倒産したホテルが放置されているがどうするのか。また、観光施策等への影響はないのか。	行政に伝える (回答を求める)	
回答	危険な状況になれば別だが、あくまで個人の所有なので市が関与することは現状ない。観光施策等には少なからず影響があるものと思われる。担当課に伝える。		

	質問 回答	日本遺産推進事業の市内での事業内容について。 小浜市では体験型見学会があり、小浜西組や旧古河屋別邸の護松園、旭座など北前船にゆかりのある場所を巡り、ホテルでの夕食会で交流していただく。	回答どおり
	質問 回答	市議会だよりに二次元コードが付いており良い取組みだと思ったが、個々の議員の考え方や活動も見られるようにできないか。 議会はあくまで合議体ということで、議員の合議で物事を決めている。個人の思いや考え方は個人の活動としてやるべきであり、議会がやることではないと考えている。	回答どおり

令和6年12月27日 小浜市議会議長 様

第4班 班長 池尾 正彦

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月21日(木) 19:30~21:00		
会場/地区	内外海コミュニティセンター		
出席議員	1班/富永芳夫、池田英之、東野浩和、浦谷梨華子		
参加者(市民)	8名		
報告事項	<p>司会・班長：富永芳夫          報告者：(定例会報告) 東野浩和          (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 池田英之          書記：浦谷梨華子</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	市議会だより181号の一般質問で、4名が同じ内容の質問項目を取り上げているが、回答がほぼ同じであった。貴重な時間を考慮し、質問内容を一本化することはできないのか。	【今後の対応】  回答どおり
	回答	新幹線小浜・京都ルートに関する質問が重複することは多いが、それは議員一人一人が「最優先課題」として強く思い、それぞれの視点から質問を行っているためである。それぞれの考えをご承知おきいただきたい。また、他の議会では会派で質問をまとめ、代表質問という形を取っている例もあるため、参考にしながら検討したい。	
	意見	1月14日の福井新聞で、小浜市には災害時に孤立する可能性がある10集落があり、矢代も含まれると報じられた。生活安全課に確認したところ、「平成26年の国のデータに基づく」とのことだったが、地区への具体的な情報提供はなかった。今年、防災マップ作成の際も孤立についての話はなかった。矢代は国道からの道が一本で、ふれあい会館が緊急避難場所となっているため、非常食や寝具などの備蓄が必要だと感じる。小浜市は最多の10集落が孤立の可能性があるため、現状を把握し、必要な物資の準備を進めてほしい。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	担当課に伝える。	
	質問	新たな火葬場をどこに建てるかは決まっているのか。	回答どおり
	回答	若狭広域行政事務組合で検討が進められており、小浜市かおおい町のどちらかで選定地を探している段階である。候補地が決まった場合でも、地元住民との交渉が必要になると聞いている。	
意見	仮に火葬場がおおい町に設置される場合、霊柩車などの費用がこちらの負担として増えることが懸念されるため、小浜市が候補地となるようお願いしたい。現在の火葬場はどれだけメンテナンスをしても古さは否めず、維持費もかさんでいる。私たちが亡くなる頃には新しい火葬場を利用できるようにしてほしい。		

	回答	い。 担当課に伝える。	行政に伝える (回答は求めない)
	質問	9月補正予算で計上された105枚の海拔表示板について、令和6年10月末時点での内外海地区、加斗地区、西津地区の設置率および進捗状況がどのようになっているのか。	
	回答	担当課に確認し、行政からの回答書を各コミュニティセンターに配付する予定である。そちらをご確認いただきたい。	<u>行政に伝える</u> ( <u>回答を求める</u> )
	質問	議員定数は人件費削減を考え、2人減らして15人にしても良いのではないか。人口減少も踏まえ検討すべきだと思う。	
	回答	経費削減と議会の任務をしっかりと果たすことが理想だが、議員数が減ると議会の機能を十分に発揮するのが難しくなると感じている。	回答どおり
	質問	小学校で1人1台配付されたタブレット端末について、その評価や効果を確認したい。特に、タブレットが子どもたちにとって単なるゲーム機になっていないかが気になる。	
	回答	現時点では把握できていないため、担当課に確認する。	<u>行政に伝える</u> ( <u>回答を求める</u> )
	意見	小さい子どもが安心して遊べる場所がもっと必要だと感じる。	
	回答	担当課に伝える。	行政に伝える (回答は求めない)
	意見	例えば、議会報告会が11月半ばに開催される場合、10月末までに事前に市民から質問状を集めることで、当日議員がその場で回答でき、より意義のある報告会になると思う。	
	回答	議会報告会連絡会に伝える。	回答どおり

令和6年12月27日

小浜市議会議長 様

第1班 班長 富永 芳夫

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月21日(木) 19:30~21:00		
会場 / 地区	中名田コミュニティセンター		
出席議員	2班 / 下中雅之、竹本雅之、川代雅和、佐野達也		
参加者(市民)	11名		
報告事項	<p>司会・班長：竹本雅之                  報告者：(定例会報告) 川代雅和                  (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 下中雅之                  書記：佐野達也</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	新聞配達時、郵便ポストに新聞や郵便物がたまっている家があるときは、安否確認のため民生委員に連絡をとり確認してもらっている。また、自分の家が分からなくなった認知症の方を自宅まで送り届けたことが何度かある。民生委員は、日中の安否確認はできるが、夜間は難しいと思うので、夜間に働いている方の協力が得られないか。	<p><b>【今後の対応】</b></p> <p><u>行政に伝える</u> (<u>回答を求める</u>)</p> <p>行政に伝える (回答は求めない)</p> <p><u>行政に伝える</u> (<u>回答を求める</u>)</p>
	回答	担当課に伝える。	
	質問	身内が近くにいない、または身寄りがないなどといったひとり暮らし高齢者を支援する制度はあるか。また、ある程度の年齢になると、交通手段等の理由により、ふれあいサロンに参加できない高齢者がいるが、解決策はあるのか。	
	回答	ひとり暮らし高齢者の支援については、資料14ページ下段の「ウ 支援体制(官民連携)、その他の取組み(3項目)」のとおり市に提言をしているが、欠けていることがあるかもしれないので市に伝える。車に乗せてもらうとか、何らかのサポートがないとふれあいサロンに参加できない高齢者に対する支援は課題である。	
	質問	市長は、ふるさと納税に力を入れると聞いているが、ふるさと納税だけではなく、小浜市としてお金を稼ぐ方法を考えているのか。また全国各地で、公務員を対象とした稼ぐ力を推進する研修会が開催されているが、市職員は参加しているのか。	
	回答	市長は、ふるさと納税を4年後に10億円に増やすという形で、現在予算編成に取り組んでいるが、他に考えていることがあれば、新年度予算でそのあたりが反映されてくる。市長が公約に掲げていた事項を実現するためにも、稼ぐ力というのは重要であり、議会としてもしっかりと注目していきたい。また、職員の技能を高める研修には参加しているが、稼ぐ力を推進する研修への参加については把握していないので、市に伝える。	

質問 回答	<p>新しい火葬場建設の状況は。</p> <p>火葬場は、小浜市・若狭町・おおい町・高浜町で構成する若狭広域行政事務組合が建設するという形になっている。新しい火葬場がある若狭町を除く、3市町の枠組みの中で新設を目指しているが、土地の確保に時間を要していると聞いている。高浜町にクリーンセンターを開設したため、おおい町か小浜市に建設することになる。</p>	回答どおり
質問 回答	<p>市から交付される「ふるさと未来づくり協働推進事業交付金」の、均等割と人口割の算定基準が見直され、今年度は減額となった。新たに「地域活動加速化支援」が設定されたが、単年度事業が対象である。中名田地区はまちづくり活動が活発で、市内で唯一、地域公共交通として「なかなたスマイルカー」を走らせたり、まち協に健康福祉部会を設置するなど福祉にも力をいれている。それらは継続していかなければならないものであるため、交付金の算定基準を再検討してほしい。</p> <p>「ふるさと未来づくり協働推進事業交付金」は全額自主財源で、均等割、人口割、「地域活動加速化支援」分を含めて全体の額は決まっているため、その枠の中でそれぞれの割合を調整している。大きい地区、小さい地区、それぞれご意見はあると思うが、よりよい配分方法を市と一緒に考えていきたい。</p>	回答どおり
質問 回答	<p>あいあいバスは便数も少なく、停留所まで遠い集落があるなどの理由により、運転免許証を返納したくてもできないのが実情だが、令和4年度に市が実施したデマンド交通実証実験の結果は、約3か月間運行して、実利用者数96人、運行件数630件、乗車750人で、輸送コストは一人当たり7,651円かかった。課題として、①運行範囲が広く、利用者ニーズと必ずしも合致しない。②利用者ニーズと運行事業者の対応力に隔たりがあるとの検証結果が出ている。</p>	回答どおり
質問 回答	<p>市のホームページに「定住・移住情報サイト」があるが、SNSで交流している移住希望者から、子どもがいる家庭には必須の学校(学科)など、サイトの情報量が不足していると聞く。また民間になるが、不動産屋は空き家住宅だけで周辺の交通アクセスの紹介がない。今後は、市のホームページから不動産屋のホームページが見られるようにするなど、官民が協力して取り組めば、市の人口が増えるのでは。</p> <p>定住・移住に関して、民間と協力できることはないか行政に伝える。</p>	<p>行政に伝える (回答は求めない)</p>

令和6年12月27日 小浜市議会議長 様

第2班 班長 竹本 雅之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月21日(木) 19:30~21:00		
会場 / 地区	今富コミュニティセンター		
出席議員	3班 / 今井伸治、岡泰宏、武長由里子、上野一		
参加者(市民)	33名		
報告事項	<p>司会・班長：今井伸治          報告者：(定例会報告) 岡泰宏          (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 上野一          書記：上野一</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	新たに住民税非課税となっている世帯への支援で、1世帯あたり10万円、18歳以下の児童に5万円であるのに対して、実際の予算が4,235万7,000円と割り切れないのはなぜか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	物価高騰緊急支援給付金は、全額国の交付金である。実際の支給額は10万円、5万円と定額であるが、事務的経費も含まれている。	
	質問	今富には10区あるが、各区の区長要望について議員は把握しているのか。	回答どおり
	回答	区単位で直接行かれているところもある。また、要望活動をしていないところもあり、情報が入ってこないのも事実である。今富地区全体の要望は把握しているが、各区の要望は把握していない。	
	質問	区長要望を上げたとき、市の担当者から予算がないため対応できない等の答弁をもらうが非常に辛い。その答弁だけはやめてほしい。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	市の担当者からそのような発言があったとのことだが、要望内容に関してはしっかりと受け止め対応している。今回の件は市に報告する。	
	質問	令和5年度の歳出171億8,433万3,900円とあるが、議員に支払われた金額はどれぐらいか。報酬以外にもあるのか。	回答どおり
	回答	議員報酬は月額35万円である。年収は、期末手当を合わせて1人約550万円となる。それ以外には視察等の旅費もあるが、飲食等は自己負担である。政務活動費は上限が月2万円、年間24万円まで認められているが、1円単位までの領収書が必要で、全員に上限額の24万円を支給しているわけではない。	
質問	市長が挙げている、ふるさと納税について議員としてはどのよ		



	回答	うに思っているのか。 現時点で2億円ぐらいの実績と思うが、4年後に10億にした いとなると厳しいものがある。小浜市のふるさと納税で何が人 気あるのか、設備投資をしても売れなかったらどうするか等 について考えなければならない。しかし、ふるさと納税も一つの 手段なので期待はしている。	回答どおり
	質問	高齢者の見守り隊として民生委員に頑張ってもらっている。デ ジタル機器の利用が難しい高齢者の方々の声を、民生委員を通 じて上げていくのが良いが、それに対する助成を考えるべきで ある。	
	回答	民生委員への国、県からの報酬があるが、金額はなかなか厳し いものがある。この件も含め国等に対し意見書を提出した。	回答どおり

令和6年12月27日

小浜市議会議長 様

第3班 班長 今井 伸治

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月21日(木) 19:30~21:00		
会場 / 地区	口名田コミュニティセンター		
出席議員	4班 / 池尾正彦、牧岡輝雄、小澤長純、世戸玉枝		
参加者(市民)	10名		
報告事項	<p>司会・班長：池尾正彦          報告者：(定例会報告) 牧岡輝雄          (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 世戸玉枝          書記：小澤長純</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	市長が代わり、補正予算に何か反映されるのか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	ふるさと納税に関して何らかの補正があるようにも聞いているが、市長の考え方の多くは来年度の当初予算に反映されるものと思う。	
	質問	4年後にはふるさと納税の額を10億円にということだが、特産品の目玉が少ない中、どれだけの現実味があるのか。	回答どおり
	回答	小浜市は高価な特産品が少なく、単価を上げられないと寄付額を増やすことは難しい。大事なことは利益としてどれだけ残るかだが、議会もしっかりと注視していきたい。	
	質問	民生委員の仕事は大変で成り手がなくて困っている。無報酬のボランティアでは次の成り手を探すのは難しく、報酬を出せるように工夫できないか。	回答どおり
	回答	国に対し、民生委員の活動費に係る財政措置を強化するよう意見書を提出したところである。	
質問	高齢者が孤立する要因に、公共交通機関が非常に少ないことが挙げられるのではないか。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>	
回答	そのとおりで、議会も委員会の所管事務調査として、ライドシェアを中心に地域公共交通について検討を行っている。担当課に伝える。		
質問	民生委員の活動しやすい環境とは具体的にはどんな活動か。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>	
回答	例えば、災害の時に避難所まで要支援者を連れて行くのが民生委員の役割と思われているが、避難所での支援が民生委員の本来の仕事である。また、民生委員の役割が曖昧で、どのように活動したらよいのか迷うことが多いとも聞いている。このように、民生委員の仕事を明確にしないと活動がしにくいのが現状である。市を挙げて取り組まないといけない問題であり、皆さ		

		んのご意見をもっと聞かせていただきたい。	
質問		梅千代会館が使用休止となっているが、使用できるようにできないか。	
回答		地元区長会も市長に要望され回答もあったようだが、担当課に伝える。	行政に伝える (回答は求めない)
質問		新しい火葬場の進捗状況はどうなっているか。	
回答		新しい火葬場の整備は、若狭広域行政事務組合が取り組んでいる。当初の計画ではこの6年度に開設の予定であったが、場所の選定に時間を要している状況である。小浜市かおおい町に建設されると思う。	回答どおり
質問		小浜西組の面的な開発・高付加価値化プロジェクトについて、村部に比べ小浜西組にお金をかけ過ぎではないか、これ以上お金をかけてどこをどうするのか。	
回答		日本の有名ホテル運営企業が、西組を面的なホテルとして捉え、富裕層をターゲットに観光誘致に取り組む仕組みをつくろうというもので、調査費を計上したものである。	回答どおり
質問		小学校の統廃合で、口名田小学校は今後どうなるのか。	
回答		従前の計画では、小浜美郷小学校の次は今富・口名田・中名田の統合と聞いていたが、計画の見直し中と思われる。行政に伝える。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
質問		若者の流出をどう考えるのか。	
回答		働く場所の確保が課題である。都会に比べ選べる仕事が圧倒的に少ない。若者に選ばれる職場を増やしていく必要がある。産業団地の誘致や、都会の働く場所が近くなる新幹線の開業に大きな期待をしている。一次産業にも力を入れていかなければならない。	回答どおり

令和6年12月27日

小浜市議会議長 様

第4班 班長 池尾 正彦

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月22日(金) 19:30~21:00		
会場 / 地区	松永コミュニティセンター		
出席議員	1班 / 富永芳夫、池田英之、藤田靖人、東野浩和、浦谷梨華子		
参加者(市民)	21名		
報告事項	司会・班長：藤田靖人 報告者：(定例会報告) 東野浩和 (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 池田英之 書記：浦谷梨華子		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	「小浜西組の面的な開発・高付加価値プロジェクト」において、小浜西組全体を一つのホテルと見立てるプロジェクトの実現可能性を探る基礎的調査は、どの機関や部署が実施するのか。	<b>【今後の対応】</b>  回答どおり  行政に伝える (回答は求めない)  行政に伝える (回答は求めない)  回答どおり  回答どおり
	回答	基礎的調査の実施主体は市であり、事業者に委託して実施する。	
	意見	高齢者にとって、あらゆる相談や手続きが1か所で済む「なんでも課」があると非常に助かる。	
	回答	担当課に伝える。	
	質問	1区に1人ずつ民生委員を配置できないか。区の実情に応じた民生委員の人員配置を検討してほしい。	
	回答	民生委員の人員配置は県が割り振っている。担当課に伝える。	
	質問	最近、水道水の水質に関する問題や公害物質の報道が全国的に取り上げられているが、小浜市ではどのような取組みを行っているのか。	
	回答	小浜市では令和5年度から有機フッ素化合物の検査を実施しており、令和5年度の検査結果では、国が定めた目標値の10分の1以下という安全な値である。令和6年度も8月に検査を行い、その結果は小浜市のホームページに掲載されている。	
質問	遠敷の大手工作機械メーカーが事実上撤退している状況と認識しているが、小浜市は現在も当該企業に対して公金を支出しているのか。その点について、決算委員会で質疑が行われているのか確認したい。	回答どおり	
回答	小浜市から当該企業へ公金の支出はされていない。		
意見	いくら工業団地を造成しても、小浜市が魅力あるまちにならないければ企業は集まらない。地域が元気で活気があり、「小浜は良い場所だ」と思われるようにならないければ、企業誘致は成功し		

		ない。竜前の団地が出来てから 20～30 年が経ち、ようやく企業数が増えた現状を踏まえ、小浜に企業を誘致するために克服すべき課題や取り組むべきことを明確にする必要がある。議会でも企業誘致戦略を掘り下げ、徹底的に分析し議論を深めていただきたい。	
回答		担当課に伝える。	行政に伝える (回答は求めない)
質問		株式会社まちづくり小浜おばま観光局が赤字となっている問題について、運営に関する質疑が議会で行われたのか。	
回答		議会では、株式会社まちづくり小浜おばま観光局の赤字問題について議論が行われている。小浜市が同社に出資しているため、毎年度の営業収支が議会に報告されており、理事者からは徐々に赤字を減らしていけるとの説明を受けている。また、議会としては、仮に同社の経営状況がさらに悪化したとしても、小浜市が赤字部分を補填（ほてん）することは絶対に認めないという姿勢で対応している。	回答どおり
質問		市役所で女性管理職が現在何人いるのか。	
回答		現在、市役所で課長以上の女性職員は 5 名おり、少しずつ増加している状況である。	回答どおり
質問		市議会議員の男女比を同数にすることを検討してはどうか。	
回答		市議会では男女共同参画を推進しているが、全国的に女性議員が少ない現状を踏まえ、女性議員を確保するためのクォータ制導入は、立候補の自由や憲法上の問題から難しい。しかし、女性議員が立候補し、議員活動がしやすい環境を整えることが重要であると議会も認識している。	回答どおり
質問		小浜市に新幹線駅が出来、新幹線が通ることを議員はどのように捉えているのか。	
回答		市議会では、全議員が新幹線駅を小浜市に一日でも早く実現させたいと願い、これを最重要課題と捉えている。	回答どおり

令和 6 年 12 月 27 日

小浜市議会議長 様

第 1 班 班長 藤田 靖人

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月22日(金) 19:30~21:00		
会場 / 地区	西津コミュニティセンター		
出席議員	2班 / 下中雅之、竹本雅之、川代雅和、佐野達也		
参加者(市民)	13名		
報告事項	<p>司会・班長：竹本雅之          報告者：(定例会報告) 川代雅和          (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 下中雅之          書記：佐野達也</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	民生委員だけではなく、ひとり暮らし老人相談員も成り手不足である。成り手不足解消策の一つとして、報酬も含めて検討してほしい。	【今後の対応】  行政に伝える (回答は求めない)
	回答	市に伝える。	
	質問	10月12日の福井県総合防災訓練に参加したときに感じたのが高齢者の避難の難しさである。台風や川の増水などは事前準備ができるが、津波時における高齢者への対応を議論してほしい。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	民生委員との意見交換会の中で、ひとり暮らし高齢者や体の不自由な方全員に対応することは難しいという話があった。機会があれば、所管事務調査として取り上げたい。市にも伝える。	
	質問	市から個別避難計画の作成依頼があったが、区長に、災害時はひとり暮らし高齢者を助けてくださいというのは話が違うのではないか。体調が悪い人をどのようにして動かすのか、怪我をしたらどうするのか等考える。また、近所に住んでいる家族をさしおいて、手を貸すことはできない。区長として責任が持てない。	行政に伝える <u>(回答を求める)</u>
	回答	議会は、個別避難計画の詳細までは把握していない。市に伝える。	
	質問	3か年の財政状況を比較できるように、資料に円グラフで示してほしい。	回答どおり
	回答	議会報告会連絡会で検討する。	
質問	まちの駅の旭座や西組、いづみ町の拡幅などに市は力を入れているが、駐車場もない所になぜ予算を注ぎ込むのか。収益性が低いように見受けられるが、メリットはあるのか。	回答どおり	
回答	いづみ町拡幅の計画はかなり前からあり、若狭町から一直線でつないで観光客の周遊を図るよう、全体を俯瞰して進めている。		

		<p>駐車場は観光客もよく知っておられて、イベント時には県外から来たたくさんの方が海岸通りや市内の市営駐車場を利用している。</p>	
	質問	議員は市内全地区の要望について把握しているのか。	
	回答	全ての地区要望については把握していない。	回答どおり
	質問	各区長会を通じた市への要望の際は、議員も同席するのか。	
	回答	地区と議員の関係も様々であるため、地区によって異なる。	回答どおり

令和6年12月27日

小浜市議会議長 様

第2班 班長 竹本 雅之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月22日(金) 19:30~21:00		
会場 / 地区	国富コミュニティセンター		
出席議員	3班 / 今井伸治、岡泰宏、武長由里子、上野一		
参加者(市民)	21名		
報告事項	<p>司会・班長：今井伸治          報告者：(定例会報告) 岡泰宏          (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 上野一          書記：上野一</p>		
報告会における市民からの意見・要望内	質問	市長との対話集会での資料の中で、ふるさと納税について記載があったが、現状を聞きたい。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	4年間で寄附額を10億円にするのが市長の考え方である。これまでも一生懸命に取り組んではいるが、問題は返礼品である。米や水産物などは全国どこでもある物であり、特色を出せるのか。また、業者も規模が小さく、対応できるのか等問題はあるが、業者と協力しながらPRし、寄附額を増やすことができるよう、取り組んでいるところである。	
	意見	国富地区は全国で最後にコウノトリのひなが誕生した地区である。そのことをアピールしたお米をふるさと納税の返礼品にしてはどうか。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	担当課に伝える。	
	意見	少子化で若い世代が少なく、年々人口が減り、働き手がいなくなる。魅力ある小浜市をつくるために議会に頑張ってほしい。	回答どおり
	回答	魅力のある地域にするということで、京都までの通勤時間や子どもの教育、企業の小浜への進出などを考えると、まず新幹線である。我々も執行機関とともに頑張る。	
	質問	新幹線の件で、石川県小松市議会などが米原ルートの再考を求めることを決議した。この件について、小浜市議会はどう反応したのか。	回答どおり
	回答	私達も憤っている。JRや滋賀県知事も小浜・京都ルートを支持している。杉本知事も、小浜・京都ルートは政府の決定事項であるとして、強く発信している。	
質問	北陸新幹線の小浜・京都ルートについて、京都の方が反対していると聞かすが、どのように状況を把握しているのか。	回答どおり	
回答	地下水の問題もあるが、鉄道・運輸機構が丁寧に説明している		



		ところである。特に災害時に東海道新幹線の代替機能を果たすことについて理解を得るよう努力している。今、最も大事な局面を迎えており、私たち議会も頻繁に要望活動を行っている。市民の皆様にも後押しいただきたい。	
--	--	---	--

令和6年12月27日

小浜市議会議長 様

第3班 班長 今井 伸治

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和6年11月22日(金) 19:30~21:00		
会場 / 地区	遠敷コミュニティセンター		
出席議員	4班 / 池尾正彦、牧岡輝雄、小澤長純、世戸玉枝		
参加者(市民)	25名		
報告事項	<p>司会・班長：池尾正彦          報告者：(定例会報告) 牧岡輝雄          (ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて) 世戸玉枝          書記：小澤長純</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	市長との対話集会で市職員が来ていなかったが、市長一人が聴いてどのように市政に反映していくのか疑問を感じた。議員はどう感じているのか。	【今後の対応】  <u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
	回答	議会のスタンスとしては、傍聴はよいけれどもグループに入って意見を言うことは慎もうということで、傍聴のみとするよう申し合わせている。二元代表制の下では、市長と議会が互いにけん制し合うことで抑制と均衡の原則が働く。今回の「市長と語る会」は、市長が市民からまちづくりのアイデアを聴き市政に生かしていくものである。予算の審議、承認を通して果たす、議会が持つ監視機能の役割から、合議体である議会の一議員が対話に参加することはふさわしくないと判断した。	
	質問	鹿をはじめとする獣害に困っている。市は対策をどのように考え実施しようとしているのか。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
	回答	個体数が増え駆除が追いつかない状況である。担当課に伝える。	
	質問	新しい火葬場の計画はどうなっているのか。	回答どおり
	回答	現在の火葬場は50年以上が経過し老朽化が進んでいる。当初の計画では令和6年度に開設となっていたが、場所の選定が決まらずなかなか進まない状況である。火葬場の整備は若狭広域行政事務組合が取り組んでいるが、クリーンセンターを高浜町に設けたこともあり、火葬場は小浜市かおおい町に建設される予定である。	
質問	旧遠敷小学校の取り壊しの件はどうなっているのか。	回答どおり	
回答	一部を残し、取り壊す方向と聞いている。		
意見	議会だよりは、堅い内容になって当たり前だが、それをどこまで分かりやすくするかが非常に難しく苦勞されていると感じる。現在の議会だよりは妥当な内容になっていると思うが、あ		

	回答	とはいかに市民に興味を持ってもらうかではないか。 ご意見は承った。	回答どおり
--	----	--------------------------------------	-------

令和6年12月27日 小浜市議会議長 様

第4班 班長 池尾 正彦